

先週の礼拝メッセージ(2022年11月27日) ベン牧師

「ハーモニー」 詩篇 32:1-2

音楽の素晴らしさの一つはハーモニーだと思います。弦楽器は一つの楽器で、いくつもの音を重ね、繋げハーモニーをかもし出し、それは人の心を打ち、感動を与えます。

私たちの人間関係の中にも、ハーモニーを保つことは大切です。夫婦間、親子、近隣の人たち、職場や学校でのハーモニーが崩れてしまうと、居心地が悪く、辛いものです。それはまるで、ハーモニーが崩れた噛み合わない演奏を聴いている時の心地悪さのようです。

演奏なら、練習不足やチューニングができていないということが考えられますが、人生のハーモニーはなぜ崩れるのでしょうか。

多くの場合、崩れたままでいいと思っている人などいないでしょう。すべての人は、平和や良い関係を望んでいます。しかし、うわべは何事もなく装えても、皆心にストレスを抱えています。なぜなら、その問題の根本が、外側にあるのではないからです。私の心の中で、自分自身がハーモニーを保っているかということが1番の問題なのです。

自分に自信が持てず、将来に対しても希望が持てず、自己嫌悪に陥ってしまう等、多くの人の心のハーモニーが崩れているから、どんなに頑張っても、家庭や職場での人間関係を改善しようとしても、叶わないのです。

オーケストラの演奏でも、もし一つの楽器のチューニングが狂っていたら、その楽器を正しくチューニングするまでは、どんなに全員が頑張っても、演奏しても、それは聞くに堪えないものとなり、ハーモニーとは程遠いものとなってしまいます。

「わたしは、自分のしていることが分かりません。自分が望むことは実行せず、かえって憎んでいることをするからです。」(ローマ7:15)

パウロの言葉です。多くの人は、「売り言葉に買い言葉」を実行すれば、人間関係は悪くなるということは頭ではわかっています。どんな時でも思いやりのある言葉を相手にかかけたいと願っています。しかし、それができない人間の内側の醜さがあるのです。言われたら言い



返し、やられたら倍にしてやり返したいと思ってしまい、良いとわかっていることより、そちらのほうを実行してしまうのです。

今日の詩篇の作者はダビデです。彼が大きな罪を犯し、神の前に悔い改めた後に書いた作品です。罪赦された喜びと感謝にあふれて彼は歌いました。私たちを赦し、新しく造り変えることができるお方は神様だけです。

今日はアドベント第一週で、クリスマスシーズンの幕開けです。クリスマスはイエスキリストのお誕生を記念してお祝いする時です。なぜこれほどに世界中でイエス様のお誕生をお祝いするのでしょうか。それは、イエスキリストの誕生の理由は、神様が私たち人間の罪を赦すため、私たちの身代わりとなって、神の子イエス様が十字架にかかれるために生まれてくださったからです。まさにイエス様は私たちの救い主なのです。誰一人として死ぬために生まれた人はいません。イエス様だけが、私たちの罪の身代わりとなって死ぬために生まれてくださったのです。自分では良いことがわかっているのに、それをすることができず、ハーモニーを崩すことばかりをして悩んでいる私の「罪」を赦し、私のうちにハーモニーを回復させて下さるために来られたのです。

「いかに幸いなことでしょう背きを赦され、罪を覆っていただいた者は。いかに幸いなことでしょう主に咎を数えられず、心に欺きのない人は。」

イエス様を信じるなら、ダビデが歌ったこの幸いを、私自身のうちに持つことができます。

そして、その美しいハーモニーは、周囲の人の心にも響き、他の人とのハーモニーをも保つことができるようになるのです。

この祝福を与えるために、イエス様はきてくださいました。

恵みに感謝し、慌ただしさが増すこの時期、もう一度心静めて、主のご降誕を感謝しましょう。

